

1. 略歴

- 1989年4月 東京大学教養学部文科 類入学
- 1991年4月 東京大学文学部国史学専修課程進学
- 1993年3月 東京大学文学部国史学専修課程卒業
- 1993年4月 東京大学大学院人文科学研究科国史学専攻修士課程進学
- 1995年3月 東京大学大学院人文科学研究科日本史学専攻修士課程修了
- 1995年4月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻(日本史学)博士課程進学
- 1997年7月 同 博士課程(日本史学)中退
- 1997年8月 東京大学史料編纂所助手
- 2007年4月 東京大学史料編纂所助教
- 2009年1月 博士(文学)学位取得(東京大学)
- 2012年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 主要業績

(1) 著書

- 『上越市史 通史編2 中世』「第2章鎌倉幕府支配の展開」上越市, 2004年12月, 646頁(担当40~72頁)
- 『日本軍事史』(一ノ瀬俊也・保谷徹・山田邦明と共著), 吉川弘文館, 2006年1月, 430頁(担当2~100頁)
- 『伊東市史 古代・中世史料編』伊東市, 2007年3月, 844頁(共編)
- 『鎌倉幕府軍制と御家人制』吉川弘文館, 2008年9月, 314頁(論文を収録)
- 『日本史リブレット人 源頼朝』山川出版社, 2010年5月, 87頁
- 『ジュニア日本の歴史3 武士の世の幕あけ』(高橋慎一郎・末柄豊と共著), 小学館, 2010年12月, 309頁(担当101~204頁)

(2) 学術論文

- 「鎌倉幕府軍制の構造と展開」『史学雑誌』105編1号, 1996年1月, 4~34頁
- 「御家人役研究の一視角」『遙かなる中世』15号, 1996年3月, 42~56頁
- 「中世法隆寺と龍田社」『遙かなる中世』16号, 1997年5月, 20~29頁
- 「『明月記』嘉禄三年春記紙背の研究」『明月記研究』2号, 1997年11月, 65~81頁
- 「武家政権と本所一円地」『日本史研究』431号, 1998年7月, 1~25頁
- 「『明月記』建暦三年記紙背の研究」『明月記研究』3号, 1998年11月, 59~70頁
- 「阿弭河荘の建治相論」鎌倉遺文研究会編『鎌倉遺文研究 鎌倉時代の社会と文化』東京堂出版, 1999年4月, 5~28頁
- 「肖像画データベースの試み」『人文学と情報処理』22号, 勉誠出版, 1999年7月, 36~42頁
- 「御家人制の周縁」『古文書研究』50号, 1999年11月, 98~112頁
- 「御家人役「某跡」賦課方式に関する一考察」『鎌倉遺文研究』7号, 2001年4月, 21~29頁
- 「武家政権と戦争・軍役」『歴史学研究』755号, 2001年10月, 49~58頁
- 「『明月記』寛喜二年秋記紙背の研究」『明月記研究』6号, 2001年11月, 56~70頁
- 「荘園制と武家政権」『歴史評論』622号, 2002年2月, 17~30頁
- 「武士にとっての天皇」網野善彦ほか編『岩波講座 天皇と王権を考える10 王を巡る視線』岩波書店, 2002年11月, 45~67頁
- 「武家政権と幕府論」五味文彦編『日本の時代史8 京・鎌倉の王権』吉川弘文館, 2003年1月, 114~145頁
- 「荘園制と悪党」『国立歴史民俗博物館研究報告』104号, 2003年3月, 135~150頁
- 「歴史認識における普遍性・法則性」『歴史評論』646号, 2004年2月, 3~16頁

- 「將軍の任右大将と『吾妻鏡』」『年報三田中世史研究』12号, 2005年10月, 28~47頁
- 「鎌倉幕府と東海御家人」小野正敏・藤澤良佑編『中世の伊豆・駿河・遠江』高志書院, 2005年11月, 3~26頁
- 「太平記にみる内乱期の合戦」市沢哲編『太平記を読む』吉川弘文館, 2008年10月, 84~104頁
- 「地頭制・御家人制研究の新段階をさぐる」『歴史評論』714号, 2009年10月, 18~31頁
- 「荘園と居館」高橋慎一郎編『史跡で読む日本の歴史6 鎌倉の世界』吉川弘文館, 2010年1月, 43~73頁
- 「南北朝の遺跡」高橋慎一郎編『史跡で読む日本の歴史6 鎌倉の世界』吉川弘文館, 2010年1月, 212~241頁
- 「肥前の武士と鎌倉幕府」高橋慎一郎編『列島の鎌倉時代』高志書院, 2011年2月, 24~49頁
- 「史料」と軍記物語」千明守編『平家物語の多角的研究』ひつじ書房, 2011年11月, 261~274頁

(3) 書評・史料注釈・事典等

【書評・研究動向・小論】

- 「書評と紹介 田中文英著『平氏政権の研究』」『日本歴史』565号, 1995年6月, 126~127頁
- 「書評と紹介 佐藤鉄太郎著『蒙古襲来絵詞と竹崎季長』」『日本歴史』575号, 1996年4月, 111~112頁
- 「書評 本郷和人著『中世朝廷訴訟の研究』」『史学雑誌』105編11号, 1996年11月, 96~104頁
- 「回顧と展望 日本(中世二)」『史学雑誌』107編5号, 1998年5月, 76~84頁
- 「紹介 悪党研究会編『悪党の中世』」『歴史評論』590号, 1999年6月, 96~97頁
- 「書評と紹介 斉藤国治著『定家『明月記』の天文記録』」『古文書研究』52号, 2000年11月, 96~98頁
- 「書評と紹介 工藤敬一著『中世古文書を読み解く - 南北朝内乱と九州 - 』」『日本歴史』634号, 2001年3月, 105~107頁
- 「史料・文献紹介 北爪真佐夫『武士と御家人 - 中世国家と幕府の吏僚 - 』」『歴史学研究』774号, 2003年4月, 60~61頁
- 「書評 七海雅人著『鎌倉幕府御家人制の展開』」『史学雑誌』112編6号, 2003年6月, 86~94頁
- 「書評 工藤敬一著『荘園制社会の基本構造』」『日本史研究』498号, 2004年2月, 87~95頁
- 「解説」『石井進著作集第二巻 鎌倉幕府論』岩波書店, 2004年10月, 307~312頁
- 「鎌倉幕府成立と政権構想」五味文彦編『別冊歴史読本 源氏対平氏』新人物往来社, 2004年12月, 173~179頁
- 「武士の成立と台頭」本郷和人編『別冊歴史読本 歴史の争点 武士と天皇』新人物往来社, 2005年8月, 38~50頁
- 「書評 高橋一樹『中世荘園制と鎌倉幕府』」『歴史学研究』808号, 2005年11月, 59~62頁
- 「書評 元木泰雄著『源義経』」『産経新聞』(大阪版)2007年3月26日朝刊
- 「書評と紹介 井上宗雄著『京極為兼』(人物叢書243)」『日本歴史』708号, 2007年5月, 100~101頁
- 「『合戦絵巻』を読み解く」関幸彦編『別冊歴史読本 源氏』新人物往来社, 2007年6月, 70~79頁
- 「熊谷報告を聞いて」『日本史研究』548号, 2008年4月, 44~48頁
- 「書評 田沼睦著『中世後期社会と公田体制』」『法制史研究』58号, 2009年3月, 198~202頁
- 「吾妻鏡の中の伊東氏と宇佐美氏」伊東市史編さん委員会編『図説伊東の歴史』伊東市教育委員会, 2009年3月, 52~53頁
- 「書評 鎌倉佐保著『日本中世荘園制成立史論』」『史学雑誌』120編4号, 2011年4月, 86~94頁
- 「『吾妻鏡』と日記」元木泰雄・松園斉編『日記で読む日本中世史』ミネルヴァ書房, 2011年11月, 123~125頁
- 「武家職制」築島裕編『古語大鑑』第1巻 東京大学出版会, 2011年12月, 793~807頁
- 「まぼろしの国宝『平治物語絵巻』を読み解く」『歴史読本』2012年5月号, 新人物往来社, 2012年3月, 9~13頁

【史料注釈・紹介】

- 『大田村文化財調査報告書第2集 豊後国田原別符の調査 田原谷の中世石造物』大分県西国東郡大田村教育委員会, 1994年3月, 26~35頁
- 『『明月記』(建仁二年八月)を読む』『明月記研究』1号, 1996年11月, 2~36頁
- 『『明月記』(嘉禄三年三月)を読む』『明月記研究』2号, 1997年11月, 2~64頁

- 『明月記』(嘉禄三年閏三月)を読む『明月記研究』3号,1998年11月,2~58頁
- 『御家人役催促に関する一史料』『歴史学研究月報』472号,1999年4月,6~8頁
- 『明月記』(治承四年)を読む『明月記研究』4号,1999年11月,2~63頁
- 『明月記』建仁元年五月記断簡『明月記研究』4号,1999年11月,77~81頁
- 『明月記』(治承四五年)を読む『明月記研究』5号,2000年11月,2~63頁
- 『史料紹介『吾妻鏡』』『歴史と地理』547号,2001年9月,41~47頁
- 『明月記』(寛喜二年八月)を読む『明月記研究』7号,2002年12月,2~51頁
- 『吾妻鏡注釈 建保元年正月~三月条』『文献と遺跡』4号,科学研究費補助金『吾妻鏡』と中世都市鎌倉の多角的な研究(研究代表者五味文彦),2004年10月,10~19頁
- 『明月記』(建暦三年五月)を読む『明月記研究』9号,2004年12月,2~95頁
- 五味文彦・櫻井陽子編『平家物語図典』小学館,2005年4月,70~89頁
- 『明月記』(元久二年五月~閏七月)を読む『明月記研究』10号,2005年12月,2~76頁
- 本郷和人編『別冊歴史読本 絵巻・屏風絵で見る日本の合戦』伴大納言絵巻」「男衾三郎絵巻」「平治物語絵巻」「結城合戦絵巻」執筆,新人物往来社,2007年1月
- 『建仁元年十月『熊野御幸記』を読む』『明月記研究』11号,2007年12月,2~70頁
- 三井記念美術館・明月記研究会編『国宝熊野御幸記』八木書店,2009年4月,208頁
- 『解説』東京大学史料編纂所編『東京大学史料編纂所影印叢書5 平安鎌倉古文書集』源範頼下文(23頁)・源頼朝下文(26頁)・太政官牒(27頁)・北野宮寺政所下文(28頁),八木書店,2009年5月
- 『明月記』(天福元年六月)を読む『明月記研究』12号,2010年1月,2~63頁
- 『明月記』(建仁三年十二月)を読む『明月記研究』13号,2012年1月,2~62頁

【事典等】

- 『岩波日本史辞典』附録「莊園公領表」,岩波書店,1999年10月
- 『歴史学事典7 戦争と外交』編集協力,弘文堂,1999年12月
- 『歴史学事典8 人と仕事』「家人」「検非違使」「御家人」「將軍」,弘文堂,2000年12月
- 『歴史学事典9 法と秩序』「御成敗式目」「二条河原落書」「雑詔決断所」「もののふの道」,弘文堂,2002年2月
- 『歴史学事典10 身分と共同体』「家訓/家憲1(日本の)」「均分/一子相続」「相続1(日本の)」,弘文堂,2003年2月
- 『日本荘園史大辞典』「皆済」「皆損」「郡郷地頭」「所務代官」「色目」「請負代官」「莊郷地頭」「莊務代官」「地頭給田」「地頭算失」「直物」「兵士米」「兵士免」,吉川弘文館,2003年3月
- 『日本史文献事典』「石井進『日本中世国家史の研究』」「石井進『中世武士団』」「石井進『鎌倉武士の実像』」「石井進『中世史を読み解く』」「石井進『中世史を考える』」「田中稔『鎌倉幕府御家人制度の研究』」「田中稔『中世史料論考』」「平山行三『和与の研究』」「牧健二『日本封建制度成立史』」「牧野信之助『武家時代社会の研究』」,弘文堂,2003年12月
- 『歴史学事典12 王と国家』「公役」「御家人制度」「地頭制」「武家」「武家政権」,弘文堂,2005年3月
- 『国際政治事典』「元寇」,弘文堂,2005年12月
- 『歴史学事典13 所有と生産』「開墾田」「在地領主」「職」「私領」,弘文堂,2006年4月
- 『歴史考古学大辞典』「絵巻」(別刷図版),「吾妻鏡」「元」「元亨釈書」「建仁寺」「古今著聞集」「古事談」「今昔物語集」「十訓抄」「私年号」「大日本古文書」「大日本史」「大日本史料」「長福寺」「問」「徳政」「馬借」,吉川弘文館,2007年3月
- 『日本女性史大辞典』「吾妻鏡」「一期相続」「悔返権」「御家人」「財産相続」「女子相続」「夫婦別財」,吉川弘文館,2008年2月
- 『日本中世史事典』「承久の乱」「執権政治」他34項目,朝倉書店,2008年12月
- 『平家物語大辞典』「甲斐源氏」「清和源氏」他15項目,東京書籍,2010年11月

(4) 口頭発表

- 史学会第94回大会報告「異国警固番役の再検討」,1995年11月,東京大学
- 日本古文書学会第30回大会報告「御家人制の周縁」,1997年10月,九州大学

第44回国際東方学者会議シンポジウム報告「御家人制について」, 1999年6月, 国立教育会館
 第38回日本中世史サマーセミナー報告「中世の権力と武力」, 2000年8月, 和歌山県湯浅町
 第10回全国文献・情報センター人文社会科学学術情報セミナー報告「東京大学史料編纂所肖像画データベースの試み」, 2000年11月, 学術総合センター
 特定領域研究『古典学の再構築』平成12年度第3回原典班研究集会報告「室町期における『吾妻鏡』の受容と伝来」, 2001年1月, 東京大学
 2001年度歴史学研究会大会中世史部会報告「武家政権と戦争・軍役」, 2001年5月, 青山学院大学
 第41回日本中世史サマーセミナー報告「荘園制研究の現在 - 工藤敬一著『荘園制社会の基本構造』を手がかりに - 」, 2003年8月, 人吉市
 直実・蓮生を学ぶ会講演「御家人からみた鎌倉幕府」, 2003年8月, 熊谷市立図書館
 前近代日本の史料遺産プロジェクト第5回国際研究集会報告「越後国御家人と恵信尼書状」, 2004年7月, 東京大学
 松戸市青年講座「生き方ウォッチング～時にはナンバー2の人生も見てみよう～」講演, 「足利直義 - 室町幕府の「副将軍」 - 」, 2005年7月, 松戸市民会館
 歴史学研究会中世史部会報告「2008年度歴史学研究会大会鎌倉報告援助報告」, 2008年3月, 早稲田大学
 東京大学中世史研究会「『室町・戦国期研究をよみなおす』をよみなおす」報告, 「公武関係を読み直す」, 2008年7月19日, 豊島区消費生活センター
 国立大学附置研究所・センター長会議第三部会(人文・社会科学)第5回シンポジウム「戦争: 過去と向き合う」報告, 「日本中世の戦争の記録と記憶」, 2008年11月7日, 東京大学
 直実・蓮生を学ぶ会講演「鎌倉幕府の軍制について」, 2009年2月, 熊谷市立図書館
 中世前期地域社会研究会(帝京大学山梨文化財研究所共催)「シンポジウム 列島の鎌倉時代 - 中世前期に地域社会の萌芽を探る - 」報告, 「鎮西の在地武士と御家人制」, 2009年7月25・26日, 帝京大学山梨文化財研究所
 シンポジウム「平家物語研究の視点 - 歴史学の視点・文学の視点、その相互理解をめざして - 」(科学研究費補助金「平家物語の初期形態に関する多角的研究」(研究代表者千明守)による共同研究会)報告, 「史料」と軍記物語」, 2010年6月6日, 國學院大學
 科学研究費(B)「文化現象としての『源平盛衰記』」(課題番号22320051、研究代表: 松尾葦江)公開講演会報告, 「後白河院と平氏」, 2011年10月, 國學院大學
 鎌倉禅研究会講演, 「北条時頼とその時代」, 2012年2月, 建長寺
 直実・蓮生を学ぶ会講演, 「平清盛と平氏軍制」, 2012年3月, 熊谷市立図書館

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

清泉女子大学文学部 非常勤講師(2002年度・2005年度～)
 慶應義塾大学文学部 非常勤講師(2005～2006年度)
 東洋大学文学部 非常勤講師(2009年度～)
 淑徳大学公開講座(2007年夏・秋・冬, 2008年夏・冬, 2009年夏・冬, 2010年夏・冬)
 早稲田大学オープンカレッジ(2008年冬, 2009年夏・冬)

(2) 学会活動等

日本古文書学会研究委員(2010年度)
 鎌倉遺文研究会運営委員(2010年度～)
 上越市史調査執筆委員(1995～2004年度)
 伊東市史編さん委員会専門委員(1999年～2007年度)
 国立歴史民俗博物館共同研究員(2000年度)